

環境調査結果のお知らせ

平成30年3月6日9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は13.1~14.8℃で、前回調査時(H30.2.20)と比較して全層で0.6~1.8℃上昇していました。

塩分は16.0~30.8で、前回調査時と比較して全層で1.9~14.7低下していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量7.4~8.8mg/lで、前回調査時と比較して全層で0.8~2.6mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は1.5mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.2.20)	
			差(今回-前回)
0m	13.1	11.3	1.8
1m	13.4	12.8	0.6
2m	14.7	13.3	1.4
B-1	14.8	13.7	1.1

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.2.20)	
			差(今回-前回)
0m	16.0	29.0	▲ 13.0
1m	16.2	30.9	▲ 14.7
2m	28.7	32.1	▲ 3.4
B-1	30.8	32.7	▲ 1.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.2.20)	
			差(今回-前回)
0m	8.8	9.6	▲ 0.8
1m	8.6	10.1	▲ 1.5
2m	7.8	10.2	▲ 2.4
B-1	7.4	10.0	▲ 2.6

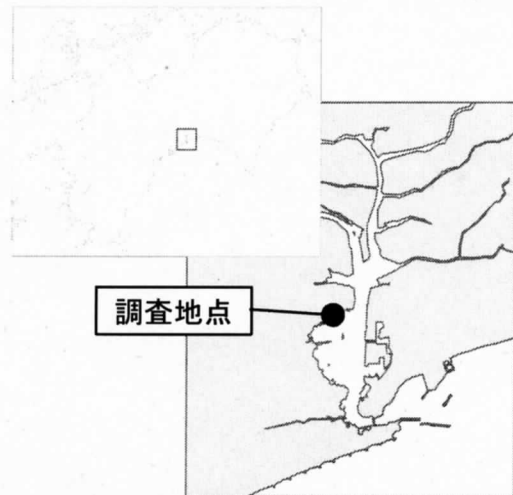


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.7	3.7
透明度	3.2	3.2

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステナム	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0	30
1	0	0	0	0	20
2	0	0	0	0	20

漁業被害が想定される細胞密度
 ・ヘテロシグマ・アカシオ:
 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>